

所属・氏名（ 看護学部 看護学科 氏名：岡本 亜耶子 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (報告・発表) 基礎看護学実習前・後に1 年次生が捉えた援助的関係 の思考の変化	共著	2020年12月	第40回日本看護科学学会学術集会	看護大学1年次生が援助的関係をどのように理解していくのか、実習前と実習後のレポートから、学生の思考の変化を明らかにすることを目的とした。患者への関心に基づく経験や自己を振り返る経験が、援助的関係を捉える思考に変化をもたらすことが明らかになった。 (岡本亜耶子, 二井矢清香, 鍵浦文子, 杉野美和, 三味祥子) (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
2 (報告・発表) 看護大学1年次生が捉えた 看護におけるコミュニケーションの特徴ーレポートの内容分析の結果からー	共著	2020年12月	第40回日本看護科学学会学術集会	看護大学1年次生が講義及びロールプレイを通して捉えた、看護におけるコミュニケーションの特徴を明らかにすることを目的とした。学生は、患者が抱える問題について共に考えるというコミュニケーションの特徴が捉えにくいことが明らかになった。 (杉野美和, 鍵浦文子, 岡本亜耶子, 三味祥子, 二井矢清香) (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
3 (報告・発表) 異学年協同学習におけるピアサポーターの学習効果ーコミュニケーション演習を通してー	共著	2020年9月	第30回日本看護学教育学会学術集会	援助的関係を形成するために必要な教育内容であるコミュニケーションの演習において、ピアラーニングを導入し、ピアサポーターとして取り組んだ2年生の学習効果が明らかになった。 (三味祥子, 岡本亜耶子, 杉野美和, 二井矢清香) (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
4 (報告・発表) 先輩ー後輩関係から学ぶピアラーニングの教育効果ー援助的関係を育成する教育を目指してー	共著	2020年9月	第30回日本看護学教育学会学術集会	援助的関係を育成する教育方法として、先輩ー後輩関係というピアラーニングに注目し、その教育効果を明らかにした。ピアラーニングによって自己を捉えなおす省察能力が育まれ、看護職に必要な行動様式の共有へ繋がっていくことが明らかになった。 (二井矢清香, 杉野美和, 岡本亜耶子, 三味祥子) (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)